もりまち議会だより

平成30年(2018年)8月
第76号

写真／無病息災を願う（天宮神社）

≪主な内容≫

６月定例会審議結果　２～３　ページ
一般質問　４～６
　使用禁止の危険な遊具は早急に撤去を　他
政策提言を提出　６
写真募集について　７

発行 静岡県森町議会

こども医療費助成、高校卒業年代まで拡大

摩耶保育園新築移転、定員20人増

森町議会は、6月定例会を12日から25日までの会期14日間で開催しました。補正予算や条例など9議案を審議しました。

一般質問は「使用禁止の危険な遊具は早急に撤去を」など5人が質問しました。

（4～6ページに掲載）

補正予算

一般会計補正予算（第1号）

追加　1億5348万4千円
総額　73億7148万4千円

宮園小学校プール改修

プールの表面をFRP製に大規模改修する

（8550万円）

こども医療費助成事業

10月から医療費助成の対象者を、高校卒業年代まで拡大する

（465万4千円）

コミュニティ助成金

西幸町町内会の屋台の改修に補助を行う

（250万円）

公共土木施設災害復旧費

4・5月の豪雨災害への対応に費用を要したため、予算を増額する

（230万円）

太田川右岸3号線舗装修繕

防災・安全交付金を利用して、舗装修繕を行う

（1470万円）

スポーツ振興基金積立金

「ヤマハレディースオープン葛城」の開催に伴い寄附を受けたため、基金積立を行う

（100万円）

※寄附者……ヤマハ（株）、ヤマハ発動機（株）
※スポーツ振興基金……町民のスポーツ振興及び普及に要する経費に充てるための基金

建築物等耐震化促進事業費補助金

木造住宅耐震補強助成事業の見込件数が、当初予算額に到達したため増額する

（460万円）

人事

森町固定資産評価員の選任

村松弘（むらまつひろし）氏の選任に同意しました。

※固定資産評価員……町長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、固定資産価格決定の補助をする

森町固定資産評価審査委員会委員の選任

佐野房代（さのふさよ）氏の再任に同意しました。

※固定資産評価審査委員会……固定資産課税台帳の評価額に対して納税者から不服があった場合、委員会が審査を行う
※固定資産課税台帳……土地・家屋の所有者、地目、面積、評価額などが記載された台帳

破損が激しい宮園小学校プール（タイルの破損箇所等）

補正予算（追加議案）

一般会計補正予算（第2号）

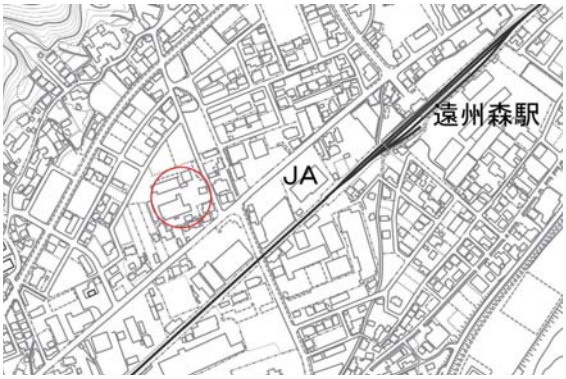
追加　2億1288万6千円
総額　75億8437万　円

摩耶保育園園舎新築整備事業費補助金

摩耶保育園新築移転に伴い補助金を交付する

（2億1288万6千円）

・移転先……森（栄町中）地内
・敷地面積……約4605㎡
・延床面積……約995㎡
・定　員……120人（20人増）
・総事業費……約4億4000万円
・完　成……今年度末を予定



丸囲いが摩耶保育園の移転先

6月定例会の審議結果

	議案名	結果	備考
専決	専決処分の報告承認	承認	全員賛成
人事	森町固定資産評価員の選任	同意	全員賛成
	森町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	全員賛成
条例	森町税条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成
予算	平成30年度森町一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全員賛成

	議案名	結果	備考
予算	平成30年度森町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員賛成
一般議案	静岡県市町総合事務組合規約の変更	原案可決	全員賛成
	周智郡土地開発公社定款の一部変更	原案可決	全員賛成
予算	平成30年度森町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	全員賛成

【全員協議会報告】

町の各種計画の報告が有りました

6月定例議会初日、当局出席の全員協議会を開催し、現在町で取り組んでいる次の5つについて、各担当課から説明があった。

①森町国民保護計画の変更及び森町地域防災計画の修正
②森町防災ハザードマップ・防災ガイドブック
③森町障がい者計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画
④森町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画
⑤森町農業振興地域整備計画の変更

町長からは、「森町防災ハザードマップ・防災ガイドブックが完成したので全戸に配布する。希望する町内会へは、説明会を実施する計画である。」との説明があった。

【議員総会報告】

危険なブロック塀の調査、点検報告が有りました

議会最終日の議員総会において、町長から、「先日発生した大阪府北部地震により、小学校のプールのブロック塀が倒壊し、その塀に挟まれて女子児童が亡くなるという痛ましい事故が発生した。

この事故を受け、森町教育委員会では、県や国の通知を待たず、早急に各幼小中学校長あてに、園・学校施設、学校周辺、通学路について今一度安全点検をするよう連絡した。

翌日午後には学校教育課職員が全幼稚園・小中学校を回り、学校施設周辺のブロック塀について、危険箇所がないか目視で点検した。

その結果、事故が有ったようなブロック塀は見当たらなかったが、ブロック積みによる建築物が2箇所と、構造物1つが確認できた。

すぐに関係業者に補強や撤去等の必要があるか確認するよう依頼したが、まずは近づかないように対策を講じ、子どもたちにも周知した。」との報告があった。

※全員協議会……議長の招集で議会会期中、閉会中の別なく開催される会議
※議員総会……議員による連絡、報告、協議を行う会議

伊藤和子

使用禁止の危険な遊具は早急に撤去を

問　各小学校では遊具の老朽化が進んでいる。

子どもの安心・安全を守る観点からも、適正な安全管理が必要である。

現在、使用禁止となっている遊具の具体的な撤去計画について伺う。

教育長　使用禁止の遊具については、修理により安全が確保されるものであれば、本年度予算を有効に活用して修理し、不可能なものについては、計画的に撤去する対応を図っていく。

森小学校の使用禁止となっている遊具

問　特に、森小学校では使用禁止の遊具が多くなっており、非常に危険な状況であると感じる。

早急に、子どもが安心して遊べる環境整備をするべきではないか。

教育長　森小学校の遊具に関しては、本年度の8月中に撤去できるものは撤去し、子どもの遊びに叶うような滑り台を設置する予定でいる。

空きびんの回収ボックスの設置を

問　空きびんの処理に苦慮している住民が増えている。

びん類を常時捨てる場所を願う声を多く聞く。

びんの回収ボックスを設置できないか。

町長　びんの回収を委託している業者や、コンテナを設置して古紙や缶等の回収をしている民間事業者に問い合わせ、協議していく。

町政を問う　～一般質問～

岡戸章夫

町長の考える学校のあり方とは何か

問　学校のあり方について、どこに一番焦点を置いているか伺う。

町長　6月8日の森町総合教育会議にて教育委員会の総意により、以下の統一見解が示された。

「重視した事項は、学校の主体である児童生徒の『人間としての成長』に視点をあてた考え方を優先させた。中学校は将来的には一校に再編するが、まずは泉陽中と森中を統合する。小学校は複式学級を解消するために、三倉小と天方小を森小に統合する。今後は更なる再編や、小中一貫校や幼稚園の再編も視野に入れ研究していく」

町長として「児童生徒の人間としての成長」に重きを置きたいと考える。また、学校の統合がマイナスのイメージでなく、森町の新しい教育が町を挙げて始まるという、希望に満ちたものにしたいと考える。

問　学校の統廃合を期に新しい町づくりを構築する考えはあるか伺う。

また、統合による新校舎建設の考えはあるか。

町長　立地適正化計画及び都市計画マスタープランを策定中であり、新たな学校を見据えた町づくりや、統合による学校の跡地を活用した子どもの居場所づくりなど、様々な視点で検討していきたい。

また、統廃合を契機に人口減少対策や、公共交通体系の構築なども検討していきたい。

喫緊の課題の統合に関しては、森中学校・森小学校とも教室数は十分にあり、現行で対応できるため、新たな校舎建設の考えはない。

森町総合教育会議の様子

西田　彰

森町地域公共交通計画の具体化について

問　交通弱者に対する短期施策のバス、タクシー券導入実施時期はいつか。

町長　計画開始から2年以内（平成31年度末まで）には実施予定だが、できる限り早期に実施したい。

問　この計画の抜本的対策はいつになったらできるのか。

町長　地域公共交通計画は2026年3月末までの8年間である。公共交通を取り巻く現状は厳しいため、計画の主要な施策・取組を、町民や交通事業者等と連携しながら期間中に検討実施しつつ、次の施策を研究していきたい。

問　自主運行バスの大河内線、吉川線を廃止し「通学、通園バス」にできないか。

町長　現在の利用実績は、大河内線の8割が児童生徒、吉川線の4割が児童生徒である。

廃止してしまうと、児童生徒以外の現利用者にとってサービス低下となるため、運行は続けたい。

計画にある「町営バス、民間バスの利便性向上策」として、時刻表の見直し、バス停の新規設置、経路変更など、地域の実情や要望に合わせ検討していきたい。

その他の質問

・豪雨に対する危険地域の現状、対応、周知はどのようになっているか

地域を運行するバス

町政を問う　～一般質問～

鈴木托治

核のゴミを森町に

問　使用済みの核廃棄物の処分地に手を挙げたらどうか。

そうすれば莫大な交付金がおり、低迷する森町の起爆剤になると思うが、町長の考えを伺う。

町長　核のゴミの処分は国が避けて通ることができない問題である。

国が全面に立って候補地を定めるとの通知があったばかりであり、今は処分地の候補地として手を挙げることを検討する段階ではない。

問　核のゴミの処分さえ思うようにいかないのに原発の稼働は大反対である。未来に生きる者たちへ負の遺産を引き継がせていいのか。

そこでもし国が処分地として打診してきたらどうするか。

町長　処分地の受入れについては、あくまでも仮定の話であり、お答えできないが、国から処分地に関する問いかけがあった場合には、聞く耳を持たなければならないと思うし、その際には、十分な協議を重ねていかなければならないと考えている。

女性の政治参加について

問　5月に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行された。女性の政治参加についてどのように考えるか。

町長　要綱に示されているように、町として実態調査、啓発活動、環境整備、人材育成に努めていく。

教育振興資金について

問　一部の小中学校区に存在する教育振興会資金は、教育の公平性を阻害していると考えるがどうか。

教育長　森町には幼稚園2園、小学校4校、中学校2校に、教育振興資金管理団体が以前から存在している。

団体からの援助は、学校と団体がよく話し合った上で、他の学校にはない特色ある活動等に充て、本来町が負担すべきものについては、団体に頼ることは控えるよう伝えている。

教育委員会としては、学校経営や施設の維持管理において格差が出ないよう配慮し、教育環境が平等になるよう予算執行に努めている。

中根幸男

企業誘致の取り組みは

問　企業誘致を推進し、働く場を確保することは、まちづくりを進める上で大変重要なことである。これまでの企業誘致の取り組みと今後の方向について伺う。

町長　町としては、平成21年度に北戸綿工業団地が完売して以降、町内の遊休地、遊休工場への企業誘致を中心に取り組んできた。

また、中川下工業専用地域においては、拡張希望の企業があったことから、県企業局の協力を得て造成を進めるとともに、当該地域における企業誘致を推進するため、交付金を活用した町道の整備を実施している。

企業への支援策としては、「森町企業立地マッチング促進事業」及び「森町産業立地奨励事業費補助金」を新規に制定し、本町に進出意向のある企業等に対する用地探しのサポートから、立地後の円滑な事業定着を図るための助成に至るまで、切れ目のない支援策を整えたところである。

平成29年度には、森町工業用地等適地調査を行い、今後の土地活用等について、意向確認を実施したところである。

平成30年度には、適地調査の成果をもとに追加調査を実施し、進出を希望している企業等に迅速かつ的確に情報提供を行うなど、引き続き企業誘致の推進に向けた取り組みを行っていきたい。

その他の質問

・ふじのくにのフロンティアを拓く取組

・町道太田川圃場南4号線の工事計画

造成が進む中川下工業団地

町政を問う　～一般質問～

町長へ提言書を提出しました

第一常任委員会

森町議会では、平成28年度から2年間にわたり、若い世代、子育て世代の皆さまから、町へのご意見ご要望を頂いてまいりました。

幼稚園、保育園に関する主な意見は、次のような内容でした。

(1)子どもを預け、働きに行きたいので、幼稚園の登園を早くできないか。また、迎えに行く時間を考え、もう少し遅くまで預かることはできないか。

(2)保育園2園は町の中心部にあり、利便性が悪い。保育園を南部地域に設置してほしい。

森町の現状を見ると、共働き世帯の増加に伴い保育園の需要が年々高くなってきています。

また、就労の場が南部地域や近隣市にある人達にとっては、現保育園の位置では、利便性に欠けていることが判断できます。

これら保護者の声と森町の現状を踏まえ、関係する資料及び現地調査をもとに、調査、研究を重ねた結果、

「森町は、利便性の確保及び人口減少対策として、多額の予算を掛けずかつ民間保育園の経営を圧迫せず、南部地域にある公立（町立）幼稚園を保育園機能を併せ持つ『幼稚園型認定こども園』に改園すること」

以上の内容で第一常任委員会として、町当局に政策提言をしました。

町長と第一常任委員長

写真講座を開催

ＩＣＴ活用推進委員会では、５月30日に、「スマホで簡単プロ並み写真講座」を開催しました。

情報発信を促すことを目的に募ったところ、議員８名と役場職員12名の参加となりました。

講師は奈良県出身森町大門在住の写真家、川岸和花子氏にお願いし、わかりやすく楽しく進められました。

教わった技術は、今後の情報発信などに役立つことを期待しています。

写真講座の様子

森町折々の写真を募集

身近で親しみを感じていただける議会を目指し、議会だよりや議会ホームページで使用する写真やイラストを募集しています。

提出・問い合わせ先
森町議会事務局
〒437-0293　森町森２１０１の１
電　話
0538-85-6329
メール
morimachi.gikai@gmail.com

森町議会メールアドレス

ワンポイントアドバイス
①撮りたいもの伝えたいことを自分の中で明確にしておくこと
②逆光、順光、サイド光を使い分ける
③被写体に近寄ることで、より迫力が増す
④人物写真は撮る角度に注意する
⑤位置決めは、グリッド線機能を使うことで解消
⑥お日様マークで明るさ調整
⑦動く被写体には連写で対応

募集内容について

使用目的
森町を紹介することに使用します。

募集する作品
町内で撮影された折々の風景・人物写真や作成されたイラスト

応募資格
森町内に在住、もしくは森町内に通学・通勤されている方

応募方法
必要事項を記載し、データと一緒に議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

必要事項
①住所
②氏名
③連絡先
④公表用の名前
⑤作品のタイトル
⑥撮影場所
⑦撮影日時
⑧被写体（人物、私有物）の承諾

応募規定
①町内で撮影されたもので、撮影者自身に著作権があり未発表・オリジナル作品に限ります。
②被写体が人物の場合または個人の所有物である場合は、必ず被写体本人（未成年者の場合は保護者）または、所有者の承諾を得てください。
③著作権・肖像権に関する責任については、議会では一切負いません。
④応募いただいた写真の返却は原則行いません。
⑤応募にかかる一切の費用は応募者負担といたします。
⑥採用作品の著作権は、森町議会に帰属します。
⑦編集上トリミングを行う場合があります。
⑧イラスト等を応募する場合は、町内在住、通勤通学の方が作成したものに限ります。
⑨議会だよりの表紙にはA4以上縦長に限ります。

選考・採用
議会だより編集委員会及びＩＣＴ活用推進委員会で決定します。決定後連絡の上、掲載します。

みんなのこえ

礼儀を基本に、”心技体”育成

創部昭和50年の森町柔道スポーツ少年団です。体力作り、決断力、粘り強い心の育成に努めています。小中学生男女、大人達で楽しく練習しています。

賞状やメダルを取ることで、もっと強くなるんだと頑張っています。

毎週水・金曜日19時から21時まで練習しています。試合は年間10回くらいです。

柔道の黒帯を取りに来ませんか。皆さまの見学、体験入団を待っています。

森町柔道スポーツ少年団

代表　廣岡達郎（森町大門）

電話　８５－４７６３

議会を聴きに来ませんか

６月議会では、のべ**18人**の方が、議会へ足を運んでくださいました。

予約は必要ありません。手続も簡単です。

議事堂は役場３階です。

是非、お越しください。

- 定員数28名
- お問い合わせ先……議会事務局
  電話　0538-85-6329

ホームページ

＜９月定例会の予定＞

9月 4日（火）	本会議	初　日
9月10日（月）	本会議	２日目
9月13日（木）	常任委員会	
9月26日（水）	本会議	最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。

※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

あの一般質問

どうなっただいやぁ～

【平成28年9月定例会】

Q　豪雨災害への備えとして、町内の河川の危険箇所は住民に知らされているのか。

A　洪水ハザードマップがあるが、太田川ダム完成前に作成されたものなので、新しいものを作りたい。

洪水浸水想定や土砂災害危険区域を掲載した防災ハザードマップを作成し、全戸配布しました。（平成30年６月配布）

●ひとこと●

私の住んでいる橘町内会は、森地区ですが、中山間地域です。高齢化が進み、運転免許証は返納したいが、車が無くては生活に困る。商店は勿論、買い物や通院のための足代わりも無い。生産世代の若者は少なく、軒数も人口も徐々に減少している。

そんな中、町内会維持のため全戸の代表者が参加し、向こう10年～20年を見据えた『町内会の体制作り』について、話し合いをする事になった。《人口が減っても、皆で協力し合い暮らす》そんな気持ちで、世代間の垣根を取り払い、少しでも活気や活力のある町内会にしていきたい。

S．なかね

議会だより編集委員会

議長　山本俊康
委員長　亀澤進
副委員長　岡野豊
委員　中根信一郎
委員　加藤久幸
委員　岡戸章夫

もりまち議会だより 第76号
平成30年（2018年）8月15日発行

発行　静岡県森町議会
編集　議会だより編集委員会

〒437-0293　静岡県周智郡森町森2101-1　https://www.morimachigikai.com/
TEL 0538-85-6329　FAX 0538-85-6044　E-mail:morimachi.gikai@gmail.com